年 月 日 患者本人/家族または代理人

	術前		術当日		急性期		回復期		リハビリ期	退院日
	1日目	2日目		3日目	4日目	5・6日目	7日目	10日目	11~31日目	
	入院	術前日	術前	術後	術後1日目	術後2·3日目	術後4日目	術後7日目 (1週目)	術後8~28日目 (4週目)	退院日
投薬 注射		します	す	点滴を持続的に行います	朝・夕抗生剤の点滴 を行います					
+1		ます 弾性ストッキングの サイズを測ります	キングを装着します	酸素マスクをつけています (麻酔が覚めたらはずします) 心電図モニターをつけます	心電図モニターを はずします (	3		弾性ストッキン グを脱ぎます	退院時お薬をお渡しします (必要時)	<b>薬</b>
処置	わからないこと、不安 看護師へ伝えてくだ。	なことがあれば	便がでない時は浣腸をします	フットポンプを装着します	フットポンプをはずします 創部に管が入っています(医師の指示で1~3日目に抜きます)			創部の状態がよ ければ抜糸をし ます	•8 B	600
検査	術前に脊椎検査を行い ます (説明は別紙)	看護計画 #3 疼痛コントロ 痛いときは、看護的		看護計画 #2 術後合併症の予防 異常の早期発見に努め	i	看護計画 # <b>4 転倒・転</b> 歩く練習をしる	落の危険性	採血を行います レントゲンを撮 ります	必要時、採血・ レントゲンがあ ります 看護計画	
安静度	病棟内は自由です	病棟内は自由です	きます	術後は、ベッド上安静です 術直後よりカラー装着をします 横向きは、看護師へ知らせてく ださい	歩行器歩行を開始し ます		ます	カラーは、医師 の指示があるま で装着します	#6 退院後 に対する不安 退院までにわ	1
栄養	食事はできます	す 飲水可能な時間は改 めてお知らせします	ません	お腹が動き始めれば飲水できます	朝からお粥が開始になります	朝からご飯に なります	状況により6階 のレストランにて お食事をしてい ただきます		いことを一緒! していきましょ	
清潔	シャワー浴ができます	使用し、シャワーに	感染予防のためマス キン(ピンクの液)を 使用し、シャワーに 入っていただきます		体拭きをします	体拭きをします	創部が防水テー プになったら シャワー浴がで きます	シャワー浴がで きます		7 . 6
排泄				手術室で尿の管を入れます	状態をみて尿の管を 抜きます				7	N.
説明 指導	検査の説明を受け、 同意書を提出していただ きます	手術説明を受け、 同意書を提出していた だきます(説明日時は 看護師へ確認してくだ さい)				<b>フケア不足</b> シャワーができ	ないところは手	=伝います		
観察 ケア	検温します	検温します	検温します	術後は、こまめに検温します	1日4回検温します	1日4回検温し ます	検温します	検温します	検温します	
リハビリ	リハビリにて術前に チェックをします				リハビリが始まりま す					